

ともに

平成29年12月13日発行 <文責> 校長:濱崎 豊治 副校長:北村征一郎

～ 全校で改めて「人権」について考えました ～

人KENまもる君と人KENあゆみちゃんです。「人権イメージキャラクター」として、アンパンマンの作者、やなせたかしさんが描いています。髪の毛に「人」、胸のところに「KEN」と書いてありますね。「人権」という言葉は、ちょっと難しいですが、少し分かりやすく言い換えると「世界中のすべての人が、人間らしく生きることや命が大切にされ、幸せになるための権利(約束されていること)」だと思います。いじめや差別、人が嫌がる言動をした



ら、不快な思いや悲しい思いをする人が必ずいます。だから人は皆「まわりの人のことを考え、思いやりの気持ちをもって過ごそう」としていると思います。それが「人権を大事にする」ことにつながり、一人一人みんながそのことを意識して続けることで「みんなが笑顔になる」「自分も笑顔になる」と思います。日本では、12月4日から10日までが「人権週間」でした。12月10日は、「世界人権デー」として日本だけではなく世界中で「人権を大事にしよう」「人権を守ろう」と定められた日です。観瀾校でも、「みんなが笑顔」になるための「人権」をこれからも大事にしていきたいと思います。

「人権集会」で人権の大切さを再確認

12日(火)に小学部と中学部に分かれて全校で実施しました。小学部では、各学級で「絵本の読み聞かせ(みんなとちがってもいいじゃない)」を通して感想を書き、人権標語を考えました。中学部では、生徒会の進行で「いじめと戦おう!～もしもあの日に戻れたら～」のDVDを視聴し、傍観者にならないためのチェックシートをもとに考えを深めました。



3年生で特別授業「人権教室」

11日(月)に市の4名の人権擁護委員さんから、「なかよくするにはどうすればいいか考えよう」をめあてに、絵本資料をもとに授業をしていただきました。相手の気持ちを考えて行動することや自分を振り返ることの大切さについて、改めて学習することができました。ありがとうございました。



6年生で特別授業「命の講話」

11日(月)に小学校元校長の村岡智彦先生を講師として御招きして実施しました。御自身の体験談を交えながら、「命とは、人に与えられた大切な時間。生きている今の時間を大切に、夢に向かってがんばってほしい。そして、人・自然・ふるさとを愛す人になってほしい。マザーテレサは、愛の反対は無関心と説いた。愛するとは、相手等を思い、関心を持つことです。」と命と愛の尊さについて、丁寧に伝えてくださいました。村岡先生ありがとうございました。



毎週月曜日は、観瀾校職員の「定時退勤日」です

今、社会では、「働き方改革」「業務改善」「多忙化対策」等、仕事をして働いている人が心身の健康を維持し、ワークライフバランスに配慮して働く人の人権を尊重する動きが全国的に加速しています。



教職員でも同じように、設置者である市町教育委員会、学校管理者である学校長の責任と指導のもと、観瀾校では「毎週月曜日は定時退勤日」と定めています。それにもなって、月曜日だけは「17時30分までに全職員が退勤する」こととなります。中学部の部活動も月曜日は「休養日」としています。御迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、「原則、月曜日は学校を早く閉めることになります」ので、御理解と御協力を何卒よろしく願いいたします。

「中国浙江省海鹽県と交流」をしています

昨年度は小学生の作品交流、今年度は中学生の作品交流となり、観瀾校からも中国海鹽県へ中学部生徒の作品を送っています。この交流を通して、双方の国の文化にふれ、相互に理解し合う機会になればと思います。現在、玄関ホール上方に中国海鹽県の中学生の書道や絵画の作品を大きく展示しています。作品は全て力作ぞろいで、中国の勢いを感じます。今度の期末保護者会の折にでも是非御鑑賞ください。

